

## II 競技別実施要項

### (6) ボクシング競技

1 期 日 令和7年7月5日(土)～6日(日)

<競技日程>

	エントリーチェック・ 監督会議・抽選 ・インテグリティ研修	健診計量	競技開始	開始式	閉会式
7月5日(土)	9:00	7:30(全員)	11:00	10:30	
7月6日(日)		7:30	10:00		競技終了後

2 会 場 都南体育館(〒020-0835盛岡市津志田14-19-1 TEL019-637-2219)

・ 監督会議 同上 会議室

・ 健診計量 北ホテル(〒020-0023岩手県盛岡市内丸 17-45 TEL019-625-2711)

3 競技種別、参加人数、競技区分

種別	出場枠	競技区分
成年男子 1部	1階級各市町3名以 内	個人戦(東北総スポ選手選考を兼ねる)、市町対抗

※ 2部、マスボクシングの部、演技の部については、出場枠は制限を設けない。

※ マスボクシングの部は、全日本マスボクシング大会代表選考を兼ねる

4 競技規定及び競技方法

(1) 競技規定 ア. (公社)日本ボクシング連盟競技規則を適用する。

イ. 階級は、LF～LH級までとする。(各階級体重枠は国スポ要項に準ずる。)

ウ. 競技時間は、1R2分とし、3R行う。

エ. 原則として、ヘッドガードはIBA検定品とし、ヘッドガードとユニフォームはその試合時のコーナー色とする。(準備できない場合は検討するものとする。)

オ. マスボクシングの部は、(公社)日本ボクシング連盟マスボクシング規則を適用する。

カ. 演技の部は、岩手県ボクシング連盟申し合わせ事項による。

(2) 競技方法 ア. 全て個人戦とする。

イ. トーナメント方式で行い、優勝・準優勝・3位を決定する。

ウ. 各階級の参加者が4名を越える毎にA・B或いはCのブロックで競技を行う。

エ. 技量にとまない、1部、2部、マスボクシングの部、演技の部を実施する。東北総スポ選手選考、協会対抗は1部のみとする。

5 参加資格

(1) 岩手県民で練習開始後6ヶ月を経過し、競技できる十分なトレーニングをした者で、令和7年度日本ボクシング連盟登録選手であること。マスボクシングの部は、マスボクシング選手登録していること。実戦初大会出場者については事前に必ず選手手帳の実戦競技出場資格証明に記入し、証明を受けたものに限る。演技の部は、普及のために実施し、選手登録は不要とする。

(2) 選手は必ず年次健康診断とCTスキャン診断を受けて、健康であることを証明された者とし(マスボクシングの部、演技の部は不要だが、健康であること)、いずれかのスポーツ傷害保険等に加入すること。事故発生時の対応は応急措置のみとする。

(3) 参加する者は、2007年(平成19年)4月1日以前に生まれた者であり年齢が40歳まで(マスボクシングの部、演技の部は上限を問わない)であること。その所属は、現住所または勤務地、出身高校の各ボクシング協会、いずれか1カ所とする。なお、学生の場合は、学校所在地または出身地、出身高校の各ボクシング協会いずれか1カ所とする。年齢計算基準令和7年4月2日とする。

6 成績採点方法

(1) 得点規定

各階級1位には5点、2位には3点、3位には1点をそれぞれ順位点として加点する。複数のブロックの場合、順位点はブロック数で等分し、小数点第2位を四捨五入した値とする。ただし、不戦1位(認定)は1点とする。また、1勝毎に勝ち点1点を加点する。同じ協会同士の対戦には勝ち点を与えない。さらに、認定となった選手を除き、選手はトーナメントの最初の試合の健診・計量をクリアしなければ順位を与えない。勝者が次の試合を欠場する場合は受付及び総合判定で申告することにより、健診・計量を受けなくても順位、得点を与える。本人が受付に来られない場合は代理人が申告する。

(2) 市町順位決定方法

ア. 各市町村、各出場階級毎、最高点の選手のみ採用して算出し、その得点の合計点で決定する。

